

マレーシアとの 交流記録

マレーシアへの派遣団、三芳への訪問団の様子を写真でご紹介します。

今まで実施してきた三芳町からの中学生マレーシア訪問に加え、今年度は新たにマレーシアから訪問団の受け入れも行いました。お互い交流を深め、それぞれの国の良さを感じられたことでしょう。



中学生
海外派遣団



世界で活躍できる人材育成のために 中学生海外派遣・マレーシア訪問団受け入れ

海外で貴重な体験を

町では、異国の歴史や文化にふれることで、新しい自分の発見と、国際社会の中で活躍できる人材を育成することを目的とし、中学生海外派遣を実施しています。

本年度も、町内の中学生15人が参加し、8月2日(土)から8月8日(金)までの間、マレーシアに渡り、交流事業やホームステイを行いました。

また、本年度はマレーシアから17人の訪問団の受け入れも行いました。今回の教育だよりでは中学生海外派遣とマレーシア親善訪問団の受け入れについて紹介します。

国境を越えた出会い

三芳町からマレーシアに派遣された15人の中学生は、現地で歓迎会・授業参観・調理実習・日本の文化紹介などそれぞれ意欲的に取り組み、マレーシアの人々との絆を深めました。生徒たちは、海外での様々な感動体験や学習

中学生海外派遣団について

海外派遣を希望する生徒は、まず自己アピール文を学校へ提出。その後、作文・面接による選考を経て決定されます。派遣生徒決定後は、結団式・保護者説明会を行い、事前学習でマレーシアのことをしっかりと学びます。出発式を経て、マレーシアへ。帰国後は事後学習を行い、帰国報告会を実施。各学校でも国際交流について理解を深めてもらうために朝会等で体験を伝えます。



を通じ、「国境や民族・宗教を越えて、偶然出会った人に敬意を払い、礼を尽くすこと」の大切さを学び、大きく成長して帰国しました。

マレーシア親善訪問団

三芳町からマレーシアへの派遣は今年度で3年目ですが、マレーシアからの生徒の受け入れは今回が初めて。三芳町の派遣団受け入れなどの交流を通じ、「三芳町にぜひ行ってみたい」という声があり、今回の訪問が実現しました。マレーシアの生徒たちは生まれて初めてのいも掘りや、美味しい日本の食事を楽しみ、日本のことがもっと好きになったと言っていました。

続く国際交流

生徒たちにとって、多感な時期に、異国の文化にふれたことは、貴重な体験だったことでしょう。今後も町では、国際社会で活躍できる人材育成のため、マレーシアとの国際交流を深めていきます。

マレーシア
訪問団



子どもたちの大きな生きる力に

今回の海外派遣で最も感動したことは、現地の中学校の教職員、生徒の皆さん、ホームステイの保護者が、とても友好的に私たちを受け入れてくれたことです。そのおかげで私たち派遣団は、すぐに緊張と不安が吹き飛び、マレーシアの皆さんと親善・友好を深めることができました。最終日、ホストファミリーの皆さんと涙を流して別れを惜しみ、再会を誓い合う生徒の姿を見て、一人ひとりにとって今回の経験は、これからの人生で大きな生きる力となり、未来の三芳町を、そして日本を支えていく力となると確信しました。

派遣団長
藤久保中学校校長
藤本 直己

教育だより

問い合わせ 学校教育課 内線522

